

時期	項目	内容(提言意見等)	担当課	対応(方針・実績)
第1期	医療・保健・福祉機能の充実強化についての建議	鹿野地域は言うに及ばず近隣の中山間地域でも急激な過疎化と高齢化が進行していくと想定されるなかで、医療・保健・福祉機能の充実強化は早急に対応しなければならない最も重要な課題である。こうした状況の中で、新市建設計画における「21のリーディングプロジェクト」の中の複合施設の整備事業においては、これらの機能を十分に果たし、周南市北部地域の医療・保健・福祉の中核的施設として位置付けられるよう、早期実現に向けた平成18年度の重要施策として取り扱われるよう建議する。	鹿野・地域政策課	保健、福祉、医療、地域活動等を促進する複合拠点施設として、平成21年2月「コアプラザかの」供用開始。
第2期	冬季における市道等の管理についての要望	鹿野地域においては、大雪及び長期にわたる異常低温により、多くの住民が日常生活で難渋している。とりわけ道路の除雪対策は必ずしも充分とは言えず、高齢者、児童生徒等の交通弱者は大きな不安といらだちを抱いている。このような状況から、以下の点について配慮の上、対応していただくよう要望する。	鹿野・産業土木課	
		1.除雪作業の開始時期、時刻を早くしてほしい。		気象情報及び降雪量の状況を総合的に判断のうえ、降雪量が15cm以上に達し、引き続き降雪が予想される場合は、除雪作業の開始時刻を早く実施して対応する。 (原則として、夜間は危険であるため、除雪は行わない。)
		2.除雪幅員の確保と車両の離合場所を適宜設けてほしい。		幅員の狭い路線及び待避所には、ポールを設置し、道路幅員を確保する。
		3.通学路の歩道の除雪について配慮してほしい。		通学路の歩道については、国・県道がほとんどを占めるため、県との協議が必要になる。また歩道の除雪は、歩道の構造、沿道の条件により作業が限定されるとともに機械除雪することが困難な状況であるため、除雪方法を検討する必要がある。
4.積雪時の流雪溝の安全性について配慮してほしい。	流雪溝は、市道及び県道にも設置されているため、県とも調整・協議をしていく。また市民の方々にも流雪溝の活用について、ご理解、ご協力をお願いしたい。			

【鹿野地区地域審議会】これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容(提言意見等)	担当課	対応(方針・実績)
第3期	新市建設計画進捗状況調査報告に対する提言について			
	1.未着手事業について、下記分野ごとの優先順位により、過疎地域自立促進計画等に基づき、過疎債や合併特例債を有効活用し、事業の早期実施を要望する。なお(7),(8)の事業については、状況の変化により、事業の再検討を要望する。			
	(1)市道関係	①市道鹿野片山線改良 (市道大潮小河内線の分岐から片山方面へ約200m)	鹿野・産業土木課	測量設計は実施済。 改良工事については、予算の確保が出来しだい施工する。
		②市道西谷線改良 (県道徳山徳地線から今井ライスセンターを經由して市道今井線に至る約400m)		改良工事実施中。
		③市道大潮小河内線改良 (国道315号戸根橋から市道鹿野片山線分岐まで約600m)		用地の寄付同意が難しい箇所があり、実施条件の整備が必要。
		④市道下石ヶ谷線新設 (石ヶ谷の農道を通り、温見の河川公園へ連絡する道路(橋梁有)約220m)		基本的に新規路線は実施しない方針。
		⑤市道小泉線小泉橋の改良 (小泉橋の改良 約50m)		橋梁点検の結果、バスの通行等には問題ない。 平成18・19年度に高欄の改修済。 橋梁長寿命化修繕計画事業により危険度の高いものから優先的に行う。
(2)公営住宅関係	①大地庵住宅建替事業	住宅政策課	市営住宅については、長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を図ることが重要となっている。 現在、鹿野地域の各住宅には空き家が存在し、定期的に入居者の募集を行っている状況である。今後は、人口動向や需要動向を踏まえながら、建替えよりもまず、点検の強化、計画的な修繕等の維持管理中心に進めていく方針である。  募集住宅空き状況(平成23年12月1日現在) ・田尻住宅(10戸) ・藤木住宅(2戸) ・大町住宅(1戸) ・大谷住宅(2戸) ※特定公共賃貸住宅 合 計(15戸)	
	②柏屋住宅建替事業			

【鹿野地区地域審議会】これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容(提言意見等)	担当課	対応(方針・実績)
第3期	(3)文化・スポーツ関係	①鹿野プール改修事業	文化スポーツ課	鹿野プールは漏水が著しかったので、平成23年度に最優先にプール給水循環パイプを修繕したところであることから、今後、大規模な改修の必要性が生じるまでは、現プールを利用していきたい。
		②鹿野庭球場改修事業		鹿野庭球場改修事業は、平成17年度から平成20年度の間、実施計画に登載されていたが、隣接の鹿野ふれあい広場グラウンドの整備と併せた要望もあるので、これから策定される市の公共施設の適正配置計画にそった形で検討していきたい。
		③天体観測施設整備事業	鹿野・地域政策課	当初の計画は長野山に無人の天体望遠鏡を設置し、室内からパソコンによる遠隔操作で天体観測をするというものであったが、これについては観測場所に専門家が張り付かなければならない状況になれば難しいということで具体化しなかった。天体観測については、現在鹿野公民館事業として星空観望会を実施しているところでもあり、今のところ新たな整備計画はない。
	(4)産業振興関係	①林道仁保谷線舗装工事 (市道仁保谷線と広域基幹林道高岳線を接続する路線の舗装整備)	農林課	予定なし
		②林道芋堀線改良工事 (既にある林道の幅員を改良するもの)		現道では林道高岳線への接続ができないことから、高岳線開設事業の工事用道路として、県営事業により芋堀線の途中から別ルートで接続整備中であり、高岳線への未舗装区間についても平成25年度までに舗装予定となっている。
	(5)県道関係	①県道下松鹿野線道路拡幅改良 (金峰郷から旧徳山市との境まで) (県事業であるが、早期の整備が必要であり要望する)	道路課	新市建設計画に盛り込まれているL=350m区間について、他の箇所との優先順位を考慮しながら進めていく。
	(6)公園関係	①合併記念公園化事業(リーディングプロジェクト) (周南市全域の事業として、早期の整備を要望する)	公園花とみどり課	天神山公園については、鹿野地域の自然環境を活かしながら産業・観光の振興を図る目的で、桜などの樹木の植栽や休憩所等の施設整備を、過疎計画に基づき平成23年度より順次整備していく予定である。

【鹿野地区地域審議会】これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容(提言意見等)	担当課	対応(方針・実績)	
第3期	(7)教育関係	①教職員住宅改築事業	教育政策課	鹿野地区教職員住宅(大地庵住宅RC造2階建10戸)は平成19年度以降、入居者及び入居希望がないことと、鹿野地区には他に4棟の教職員住宅があり、そのうち2棟は空いている状態が続いている。今後の利用状況等を含め教職員住宅改築について検討した結果、新たな改築は行わず必要な建物を残し、それを修繕しながら活用する。	
	(8)生活環境関係	①ストックヤード整備事業	リサイクル推進課	平成23年4月より、リサイクルプラザが稼働したことにより、資源ごみの一時保管場所となっていた鹿野ストックヤードは必要がなくなり、今後も活用する予定がないので、整備事業は必要ないと考える。	
	2.継続実施中の事業については、引き続き継続実施されるよう要望する。				
			「国・県道の改良事業」、	道路課	地域間の円滑な移動を確保するため、重要な路線であり様々な機会を通じ要望してまいりたい。 (国)315号及び(主)徳山徳地線
			「林道高岳線開設事業」	農林課	・計画延長:L=19.9km(県営事業)(昭和60年着工) ・開通区間(平成22年度末):BP側(渋川～仁保谷～才祭間)11.96km、EP側(芋堀側)3.8km 計 15.76km(進捗率:79%) ・今後の予定:平成27年度完成見込み ・参考:平成23年度事業費195,122千円(うち市負担率:10%)
			「老朽水道管の更新事業」	環境政策課	配水管更新計画(H19～H63)に伴い、平成19年度から災害に強い耐震管による配水管更新事業を経過年度の長い配水管から順次行い、水道水の安定供給に努めている。
		「下水道整備事業」	上下水道局	現在着工し、一体的な整備が必要な地区については引き続き整備を実施する。 他の未整備地区においては、費用対効果等を考慮し整備の優先順序を検討してまいりたい。	

【鹿野地区地域審議会】これまでの提言意見書等に対する対応一覧

時期	項目	内容(提言意見等)	担当課	対応(方針・実績)
第3期		3.「コアプラザかの」整備事業については現在整備中であるが、計画の中に位置付けられている「文化ホール」の建設については、鹿野地域の団体長や市民の方々からの強い願いでもあるので、総合計画の後期計画において早期の建設を強く要望する。	文化スポーツ課	平成22年度の鹿野公民館運営協議会の中で、新たに文化ホールを建設することは現状では困難であると回答している。平成22年度に修繕を行った鹿野公民館2階講堂の活用をお願いすることと併行して、これから策定される市の公共施設の適正配置や既存施設の有効活用を図る観点から検討していきたい。
		4.周南市全域にまたがり、鹿野地域に関連するファンタジアファーム整備事業については、今後鹿野地域の「都市と農村の交流」を促進し、地域の活性化につながる重要な施策として大いに期待されている。現行のせせらぎ・豊鹿里パーク事業との連携をとり、より一層の交流を促進するため、中山間地域における整備を強く要望する。	いのち育む里づくり課	鹿野地域の施設の整備状況は、他の中山間地域と比較して充実していると考えている。このため、現在のせせらぎ・豊鹿里パークや石船温泉憩いの家などの既存施設や豊かな自然の利活用を図り、都市と農村の交流の充実等を優先すべきと考えていることから、新たな施設整備は考えていない。
		5.鹿野地域は農林産物の生産の場であるとともに、国土の保全や水源の涵養、市民のやすらぎの場となるなど多面的な機能を有しており、市民共有の貴重な財産とも言える地域である。しかしながら、過疎化・高齢化に伴い、小規模・高齢化集落が増加し、集落機能が低下しつつあるなど厳しい状況におかれている。このような状況の中で新市建設計画に関連した住民の安心・安全を確保するための諸施策(地域医療の充実、防災体制の整備や生活道・危険橋梁の調査・整備、公共施設の不要物件の処理・有効活用、雪害対策等)は必要かつ重要となっており、これら事業の早期実施を強く要望する。	全関係部局	ご要望の住民の安心・安全を確保するための諸施策は、鹿野地区のみならず全市的に取り組むべき重要課題であり、引き続き計画的な整備を進めて参りたい。